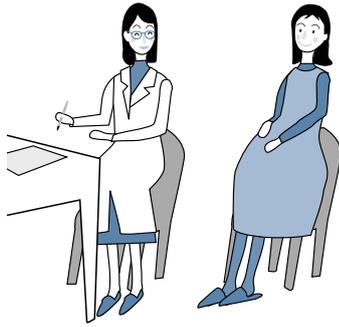


女性特有の悩みを女性の医師に相談するための「女性専門外来」を市民病院につくる考えはないか。

答 現在、県内では春日井市民病院、新城市民病院に設置されているが、その診療内容は、主に悩み事相談に類することが多く、相談後に専門の診療科を紹介する内容となっている。

蒲郡市民病院では、女性患者の医療に関する悩み事を相談する窓口として、ベテラン看護師による看護相談を7月から実施しており、7月は9件、8月は16件の相談があった。また、女性産婦人科医師による乳腺外来も予約制で実施している。女性専門外来を否定する



ものではないが、二次医療機関として専門医師の充実に努めており、また、常勤医師48名のうち女性医師が4名という現状ではその開設は困難である。

大向正義（未来の会）

人間ドック事業について

問 市の事業としての人間ドック事業について、

「1億円の赤字になっており廃止すべき」との質問を1年前に行なった。当時の答弁は、利用者の増加を図り、経費節減に努め市費の持ち出しを極力少なくしたいというものであったが、この間、利用者増に努力したのは認めるが、経費節減は全く成果が出ていない。市民病院などで実施している市では、本市より少ない人員でより多くの利用者に対応し利益を出している。大変厳しい財政状況の中、こうした赤字の事業について、財政再建のために今後どのようなスタンスで臨むのか市長の見解を問う。



人間ドックを行っている保健医療センター

答

経常収支比率が今年度は95%になり、もう自由に使えるお金が5%しか残っていない大変厳しい財政状況になっている。

そうした中で、人間ドックをはじめ、ユトリーナ、水族館、情報ネットワークセンターと、これらが続けていられるのかどうか総合的に判断しなければならぬ時期が来たと思っている。

その他の質問

1 三谷および大塚デイサービスセンターについて

柴田安彦（日本共産党）

PFIに対する市の考え方について

問

8月の宮城県南部地震で、PFI方式によりオープンしたばかりのスポーツパーク松森の天井が落下した。原因は天井を支える振れどめの未設置と考えられている。

建設から運営まで民間に任せるPFIは、市の監視が行き届かず、企業のコスト重視により安全面などでリスクを負うことが心配である。

市は効果があればPFIを積極的に実施したいという考えを示しているが、その採用は慎重であるべきと考える。市の考えを問う。

答

PFI事業の採用は、メリット・デメリットの比較など十分な検討を行い、品質管理や安全性の確保ができるような、また、市の意向が十分に反映されるような事業でなければならぬと考えている。全面的に民へ任せてしま



う方法は、確かに品質や安全性の確保について注文がつけにくい、こういう場合にも市からある程度の注文がつけられるような形が盛り込めないか研究したい。現在、具体的な計画はないが、市財政の厳しい現状では、公共事業、特に箱ものの建設には、その都度PFI導入の是非を検討する必要があると考えている。

伴 捷文（市政クラブ）

ちゃらぼこ保存会を市指定文化財に

問 ちゃらぼこは愛知万博で実演され大変盛況であった。ちゃらぼこ保存会